

令和2年度授業改善推進プラン

清瀬市立芝山小学校第2学年

| | 授業における課題や学力調査資料から見えた課題 | 授業改善のための具体策 | 成果と課題(年度末) |
|------|--|--|--|
| 国語 | 基礎的な言語事項の習得 ・主語述語に気をつけて文章をつくること。 読み取る力の育成 ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと | ・日記や観察文など文章を書く学習を多く取り入れ、主語、述語に気をつけて文章を書いたり、読んだりする力を身に付けさせるようにする。 | ・文章を書くことには慣れてきたが、主語・述語に気をつけて文章を書くことには課題が残る児童もいる。 |
| 算数 | 基礎的な計算の確実な定着 数学的な考え方の育成 ・問題を図に表し、立式すること | ・毎時間、計算問題を継続して行い、確実な定着を図る。 ・カードや表、具体物を用いて、自力解決する学習を取り入れる。 | ・毎時間の計算練習で、基礎的な計算力は身に付いてきている。問題文を読み、図に表し立式も出来てきている。 ・理解する個人差は大きい。 |
| 生活 | ・自然の様子に関心を持ち、大切にすることを育む ・友達や家族、周囲の人々とかかわる力の育成 | ・植物を育てたり、生き物を観察したりする機会をつくり、自然への関心を高める。 | ・実際に植物を育てることで、関心を持ちながら関わることができた。 |
| 音楽 | ・曲想を感じ取って表現を工夫し、思いに合った表現をするための技能の育成 | ・どのように歌ったり演奏したりしたいか思いをもたせるような言葉かけをする。 ・親しみやすい楽曲を選択し、意欲をもって活動に取り組ませながら、音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付けさせる。 | ・言葉かけに対する答えがたくさん返ってきて、曲想に合った歌い方を考え、工夫して歌うことができた。 ・限られた状況の中で、楽器を演奏する楽しさに触れ、意欲的に活動することができた。 ・楽器の技能は個人差が見られた。 |
| 図画工作 | ・基本的な道具の使い方を身に付け、正しく扱う力の育成 ・感じたことを元に、自分の思いで表現しようとする力の育成 | ・はさみ・のり・パス・絵の具等、道具や材料を使う機会を多くとり、それぞれの特徴やよさを理解して使えるようにする。 ・思いや考えを共有する時間をとり、自分なりの考えをもてるようにする。 | ・粘土(陶芸土)の扱い方など、繰り返し取り組んで経験を積み重ねる必要がある。 ・一人一人の作品をスクリーンで鑑賞する時間をとり、お互いのよさを認め合い表現に関心をもつことができていた。 |
| 体育 | ・運動の基礎技能の向上 ・ルールを守り、チームで仲良く活動する力の育成 | ・一人一人の運動量が確保できるように活動内容を工夫し、ルールを明確に提示する。その中で走る、投げる、跳ぶなど基礎的な技能を向上させるようにする。 | ・基礎的な運動技能は向上してきている。チームの中での声かけに課題が残る。 |
| 道徳 | 友達と仲良くし助け合うために、相手の立場に立って考えられる態度 | ・友達の考えをしっかりと聞き、自分の考えと比較したり深めたりする時間を確保する。 | ・自分の考えをまとめたり、友達の考えを聞いたりすることはできている。 ・比較したり、深めたりすることはまだ難しい。 |